



# 美馬ロータリークラブ週報

11月10日 火曜日

Vol.460

**例会出席者** 23名（会員数28名） 出席率 82.14%  
**メーキャップ** 青木博会員(11/1) 修正出席率 85.71%  
**ゲスト** 山田戒乗ガバナー 眞鍋照夫ガバナー補佐 友成勝様 守家祥司様

## ■会長挨拶(澤田会長)

皆さん、こんばんは。今夜の例会はガバナー公式訪問例会ということで、国際ロータリー第2670地区ガバナー山田戒乗さんがお見えになっております。山田ガバナーは美馬の地に由縁があり脇町高校で教壇に立たれたことがあるお方で、川田さん、戸島さん、森さんの恩師とお聞きしております。縁があり、今夜こうして美馬ロータリークラブにガバナーとしておいでいただき感謝するとともに感激しております。

さて、私達の美馬ロータリークラブは今年で10年目ということで、私を含めてメンバーの中にはロータリーについてまだ勉強中でございます。いつも会長の挨拶の中にはロータリーについて勉強する内容があります。今日は、簡単にガバナーについてお話しさせていただきます。

ガバナーに就任するまでの過程ですが、まず、所轄地区にて推薦されノミネートされます。次にIRの国際大会で選挙されます。そしてIRの常任役員となります。就任の2年前にからノミニーとなり、エレクトへとつながります。その後、アメリカサンディエゴでの研修を経てガバナーとなります。任期が終了するとパストガバナーになります。

ガバナーの仕事としては、何と云っても会員の増強をはかり、クラブの士気を上げることです。また、ロータリー財団との調整や各クラブ間の調整といったものがあります。

ロータリークラブの発足は、前にも勉強した通り、お互いに信頼の出来る公正な取引と仕事上の付き合いをしながら仲間を増やすというコンセプトのもと、発足したと認識していますが、山田ガバナーの場合、商売のための活動ではなく奉仕、またはボランティア、いわゆる究極のおせったいの精神でロータリー活動を実践していると思います。私たちはまだまだ勉強中の身ではございますが、今日はそんな私達に貴重なお話をよろしく願いいたします。

## ■幹事報告（三好幹事）

- ◇ 到着週報 阿波池田ロータリークラブ 鴨島ロータリークラブ 脇町ロータリークラブ
- ◇ 連絡事項 理事会の延期(ガバナー公式訪問例会のため)

## ■バナー交換(山田ガバナー、澤田会長)

## ■新入会員入会(重田会員)

## ■卓話(山田ガバナー)

ガバナーの山田戒乗です。懐かしい顔がたくさん見受けられます。川田さんがSAAをされていますね。SAAとは Sergeant at

arms です。昔、ある方がサンディエゴの研修に行ったときに細かいことを言う SAA がいました。その SAA に小言を言われたあるガバナーは、あなたは sergeant (軍曹) です。私は general です。細かいことは言わないようにと言ったら次からは敬礼されるようになったそうです。例えば SAA は会議前に戸口に立って定刻には扉を閉めて、遅刻して来た者を入場できないようにします。重要な役割であります。そんな風な細かい役員がいるような国際研修会を終えて、ガバナーとしてここに立っています。そして、美馬ロータリークラブの澤田会長は私が招集した PETS という会議に出席して、初めて会長になれます。副会長をパスト会長が務めるクラブもあります。なぜかと言いますと、会長不在のときは副会長が会議を進めます。その際、PETS も受けてない者が会を運営するのを良しとしないクラブもあるのです。話がそれましたが、これから 3 つの話をしていきます。

1 つはテーマの話です。今年のラビンドラン会長のテーマは「Be a gift to the world」です。宴会でカーストのクリシュナとスダマの話をしてくださいました。子どものころは仲良くしていたクリシュナとスダマ。大きくなるとクリシュナは神の子、スダマは貧しい民となっていました。スダマは家族に勧められてクリシュナのところに糧をもらいに行くことになりました。インドでは手を出すのは恥ずかしいことではありません。スダマは自分にとっては最高のごちそうである屑米を持参しました。2人は昔を思い出して、旧交を温めながら楽しくそれを食べました。ところが糧が欲しいと言うのを忘れて帰途についていました。しかしながら帰宅すると、子どもたちはきれいな服を着てごちそうを食べていました。クリシュナは神の子として気付いてすぐに行動に移したのです。私はそれを聞いて昔を思い出しました。インドのガンジス川で沐浴しようとベレナスを訪れたときのことです。ガンジス川は吉野川のようにきれいな川ではありません。川辺にはガートがいっぱいあります。ガートの上には焼き場のガートがあります。インドではそこで灰になってガンジス川に流してもらうのが最高に聖なることです。ガートのある岸辺はきれいではないけれど、インドの人はそこで沐浴していましたが、私たちは対岸に渡って沐浴しました。そのときの敬虔なヒンドゥー教徒のガイドが言うには、「今日私は沐浴したのでワクワクしているんだ」と言うのです。インドの人は何百キロも歩いてベレナスに行き沐浴をする。その水を持って帰って、調子の悪いときに薬代わりに飲んで体調を整えるそうです。しかし、その水は置いておくだけでは聖水にはならないのです。周囲に配ってから家に置くと万能薬となるのです。私はサンディエゴの研修会の際、そんな話が四国にないか考えました。おせったいの心がそれに当たることに気付きました。おせったいは四国の文化です。心温まるおせったいをしようというのを今年の方針にさせていただきました。テーマを掲げられるのは RI 会長だけです。私たちが掲げられるのは方針までです。

2 つ目は会員増強についてです。美馬ロータリークラブも今はこれでいいかもしれません。しかし 10 年経ったらどうでしょうか。今年は 10 周年だそうですが、20 周年になったときには皆さんお年を召されていますね。あるクラブは昔、若い者がたくさん集まっていた。その若かった人たちも今は半数以下になっています。そのクラブも今は若い会員も入り、美馬ロータリーと同じくらいの規模は保っています。美馬ロータリーさんもこのまま会員増強をしなければ、限界集落と同じようになってしまうかもしれません。こちらの幹事さんは、マイロータリーをよく使っているそうです。こちらのクラブは事務員さんがいないみたいで、幹事さんがいろいろやっているみたいです。それによって腕が上がります。頭が切れるようになります。そしてロータリーの精神が深くなります。ですので、マイロータリーを使いながら会員増強をして欲しいのです。会員拡大をやっておかないと限界集落状態になってしまいます。30 人を切っているクラブにはその危険性があります。30 人を超えるのに壁があります。50 人も然りです。私の所属クラブの徳島ロータリークラブも 80 名を切りましたので、再び超えるようにがんばっています。

3 つめはポリオの話です。ポリオとは小児麻痺のことです。昭和 30 年代に九州と北海道で 5,000 人のポリオ患者が出ました。当時の古井喜実厚生大臣は、対策として当時国交のなかったソ連から生ワクチンを緊急輸入しました。

周囲の反対も押し切って。政治家とはかくありたいものですね。その後、日本からはポリオが消えていきました。私のお寺でも山の世話をしてくれるポリオの人が30年くらい来てくれていました。彼は体力はなかったのですが、いろんなことを工夫して仕事をしていました。今はのんびり暮らしているみたいです。ラビンドラン会長は、母の命をロータリーに救われたことがあるそうです。母が危篤に陥ったとき、スリランカに7台しかなかった人工呼吸器が必要だったそうです。しかし、コロンボロータリーの力で輸入でき、事なきを得たそうです。そのスリランカにはタミール・イスラム解放の虎という勢力と政府軍の紛争があったそうですが、1日だけポリオワクチン接種のために停戦し、そうした活動もあって1994年にポリオフリーの国になったそうです。ロータリーの友によると、現在ポリオのある国はパキスタンとアフガニスタンのみになっているそうです。その国内では紛争がありますが、ポリオ撲滅のための活動をしようと手紙を送ろうにも、何語で送ればいいのかわからない。そこで、ロータリーの活動である識字率の向上であり、水等の衛生に関することであり、世界平和であります。ポリオプロジェクト一つとっても広がりを見せていきます。皆様のご協力をお願いします。

ガバナーの話はアドレスと言うそうです。来年、前田さんが来たらアドレスお願いしますと言ってくださいね。

皆さんにお願いがあります。5月13日から15日に地区大会を行います。素晴らしいゲストに来てもらう予定ですので、ご期待ください。もう1つ、韓国で世界大会があります。1番近い国ですので、皆さん一緒に行きましょう。

ご清聴ありがとうございました。

## ■ニコニコ

- ◇山田ガバナー
- ◇眞鍋照夫ガバナー補佐
- ◇徳島ロータリークラブ
- ◇遠藤会員 1月16日に結婚式をします。

## ■ベストスマイル(川田会員)

ゲストの方4人に

次回例会 プログラム	2015年11月17日(火)18:30からレストラン西岡 ニコニコ卓話(谷会員、戸島会員、矢野会員)
---------------	---

欠席 森会員 小田会員 辻会員 林会員 藤会員

☆欠席の会員はメイクアップをお願いします。次回例会に欠席の会員は、出席委員長までご連絡をお願いします。